【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【公表番号】特表2019-520540(P2019-520540A)
【公表日】令和1年7月18日(2019.7.18)
【年通号数】公開・登録公報2019-028
【出願番号】特願2018-562043(P2018-562043)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｂ　15/00　(2006.01)
Ｆ２５Ｂ　15/02　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｂ　15/00　Ｂ
Ｆ２５Ｂ　15/02
Ｃ０９Ｋ　5/04　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】令和2年5月15日(2020.5.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
冷媒と吸収剤の混合物を含む吸収式冷凍機であって、前記吸収剤が、２種のイオン液体の共融混合物である、吸収式冷凍機。
【請求項２】
前記冷媒が、水またはエタノールである、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項３】
前記共融混合物が、２９０Ｋ以下の融点を有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項４】
前記イオン液体の共融混合物が、前記冷媒中で５０～８５（重量％）の濃度範囲を有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項５】
前記冷媒と前記共融混合物の前記混合物が、１５センチストークス未満の粘度を有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項６】
前記２種のイオン液体が、２０ｋＪ／ｍｏｌ以内の融解エンタルピーを有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項７】
前記２種のイオン液体が、５０Ｋ以内の融点を有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項８】
前記２種のイオン液体が同一カチオンを有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項９】
前記カチオンがイミダゾリウムまたはグアニジニウムである、請求項８に記載の吸収式冷凍機。
【請求項１０】

前記２種のイオン液体が、ヘキサメチルグアニジニウムアセテートおよびヘキサメチルグアニジニウムジシアンアミドである、請求項９に記載の吸収式冷凍機。
【請求項１１】
前記２種のイオン液体が、同一アニオンを有する、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項１２】
前記アニオンが、ブロミド、クロライド、アセテート、またはジメチルホスフェートである、請求項１１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項１３】
前記２種のイオン液体が、１－エチル－３－メチルイミダゾリウムアセテート、および１－エチルピリジニウムアセテート；１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムアセテート、および１－ブチルピリジニウムアセテート；１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムジメチルホスフェート、および１－ブチルピリジニウムジメチルホスフェート；ならびに１－エチル－３－メチルイミダゾリウムアセテート、および１－エチル－３－メチルイミダゾリウムジメチルホスフェートからなる群から選択される、請求項１に記載の吸収式冷凍機。
【請求項１４】
前記２種のイオン液体が、
１－エチル－３－メチルイミダゾリウムアセテートおよび１－エチルピリジニウムアセテート、
１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムアセテートおよび１－ブチルピリジニウムアセテート、
１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムジメチルホスフェートおよび１－ブチルピリジニウムジメチルホスフェート、
１－エチル－３－メチルイミダゾリウムアセテートおよび１－エチル－３－メチルイミダゾリウムジメチルホスフェート、
１－エチル－３－メチルイミダゾリウムジメチルホスフェートおよび１－エチルピリジニウムジメチルホスフェート、
１－エチル－３－メチルイミダゾリウムブロミドおよび１－エチルピリジニウムブロミド、
１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムブロミドおよび１－ブチルピリジニウムブロミド、
１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムブロミドおよび１－エチルピリジニウムブロミド、
テトラメチルアンモニウムクロライドおよび１－エチル－３－メチルイミダゾリウムクロライド、
テトラエチルアンモニウムクロライドおよび１－エチル－３－メチルイミダゾリウムクロライド、
１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムブロミドおよび１－ブチル－３－メチルイミダゾリウムクロライド、ならびに
ヘキサメチルグアニジニウムアセテートおよびヘキサメチルグアニジニウムジシアンアミド
からなる群から選択される、請求項１に記載の吸収式冷凍機。